



SMART TECHNOLOGY  
FOR SMARTER MOBILITY

## プレスキット

人とモノの運搬に向けた  
ヴァレオのさまざまなイノベーション

IAA トランスポートーション 2022 - ハノーバー



画像をダウンロードするには以下の URL を Google 検索ウインドーにコピー  
<https://drive.google.com/drive/folders/1tNB5YT2Fly-9UhVBmKqEfVqQxw50JKSL?usp=sharing>

## 目次

<b>IAA トランスポーターションでのヴァレオ: モビリティを形作る変革をもたらす受注</b>	p. 3
<b>人とモノのモビリティは変わりつつあり... 電動化が進んでいます</b>	p. 4
広範にわたるヴァレオの電動化技術	p. 4
車両の電動化を支えるヴァレオのサーマルテクノロジー	p. 5
<b>人とモノのモビリティは変化しつつ、多様に</b>	p. 7
ラストマイルデリバリー向けのニューモビリティの登場とヴァレオ ヴァレオ・モビリティキットと、自動シャトルへの搭載	p. 7 p. 9
<b>人とモノのモビリティは変化しつつ、安全に</b>	p. 10
より安全な輸送への道を照らすヴァレオのテクノロジー	p. 10
よりアシストされた輸送のためのヴァレオのテクノロジー	p. 10
<b>ヴァレオ、モビリティ変革の中心における技術リーダーとして</b>	p. 12

## IAA トランスポーターションでのヴァレオ： モビリティを形作る変革をもたらす受注

2022 年 9 月 20 日から 25 日まで、ヴァレオはハノーバーで開催される第 68 回 IAA トランスポーターションに出展します。この展示会は単なる商用車業界の年次フォーラムではなく、人と貨物のモビリティの未来を示す主要なイベントとなりました。この重要性とスコープの変化は、パワートレインの変化、新しい輸送形態の出現、安全性の向上など、今、業界と社会全体に変化をもたらしているトレンドを反映しています。そして、ヴァレオのイノベーションは、これらの革命の中心にあります。

人と貨物のモビリティは、よりクリーンで、より安全で、よりアシストされ、よりコネクタされ、より多様化しています。この業界がこれほど多くの大きな変革を同時に経験したことはありません。ヴァレオはまさにこの変革の中心にいます。総合的な技術的および産業的アプローチを採用することで、ヴァレオは車両にインテリジェンスをもたらすことで、現在と将来の世代がより安全な道路交通を享受し、より暮らしやすい世界に住むことができるよう目指します。

これらの重大な変化を予期していたヴァレオは、有意義で持続可能なソリューションを提供できるように、毎年、OEM 販売の 10% 以上という額を研究開発向けに投資してきました。

ニーダーザクセン州の州都ハノーバーで開催されるこの展示会で、ヴァレオは、ADAS、ライティング、快適システムに加えて、単なる電動モーターをはるかに超えた車両電動化システムを展示します。これらのシステムを組み合わせることで、前回の IAA 商用車ショーが開催された 4 年前と比べて、ヴァレオの受注は 50% 増加し、数十億ユーロに達しています。これは、ヴァレオが商用車向けに提供する技術が 50% 増えたことに加えて、今、業界で起きている変革に私たちのテクノロジーが直結しているからでもあります。

人やモノを運ぶ方法は急速に変化しています。ヴァレオは広く利用可能なイノベーションを提供することでこのトレンドを支え、成長戦略を加速させています。2022 年 2 月、ヴァレオはこの戦略を、人とモノのモビリティを根本的に変える 4 つのメガトレンド（電動化の加速、ADAS の加速、ライティングエブリウェア、インテリアエクスペリエンスの再創出）に立脚した価値創造戦略「Move Up プラン」として発表しました。

### ご存じでしたか？

国際交通フォーラムは脱炭素化ソリューションを求めています。

経済協力開発機構 (OECD) の国際輸送フォーラムは、国際貨物輸送が世界の炭素排出量の 7% を占めていることを示しました [以下の道路輸送の世界的な排出値を参照]。

そして、このグローバルな活動は減速の兆しを見せていません。2022 年初頭に発表された ITF の予測によると、国際貨物輸送は 2050 年までに 2015 年比の 2.5 倍に達するでしょう。

この組織はまた、貨物からの絶対的な炭素排出量は、抜本的な脱炭素化策が講じられない限り、2050 年までに 2015 年に比べて 20% 以上多くなると予想されると警告しました。車両の電動化は、これらのソリューションの 1 つです。

## 人とモノのモビリティは変わりつつあり...

### 電動化が進んでいます

#### 広範にわたるヴァレオの電動化技術

私たちは、気候変動の緊急事態と公衆衛生の問題の両方に直面しています [下の「ご存じでしたか?」を参照]。世界の道路輸送全体で、炭素排出量の 18% を占めています。このセクターは、この排出量を削減するために行動しなければなりません。それには、モビリティ全体をより電動化することです。これは単なる移行ではありません。これまでの車両を完全に変える革命です。ヴァレオは 10 年以上にわたり、この激動に備えてきました。わずか 10 年ほどで、ヴァレオは事業の規模を変更し、技術的なフォーカスを再定義しました。2009 年から 2021 年の間に、ヴァレオの電動化ソリューションの売上は 26 倍に増加しました。

主要なグローバル モビリティプレーヤーであるヴァレオのイノベーションは、この規模の変化を表しています。人工知能アルゴリズムとソフトウェアを組み込んだ技術を、人とモノのモビリティ部門にもソリューションとして提供しています。それらは現在、すべての車両とあらゆる形態のニューモビリティに対応しています。

ヴァレオは、低電圧から高電圧まで、電動パワートレインの拡張に必要なあらゆるシステムを揃えています。小型の都市型フル電動車から長距離トラックまで、あらゆる種類の車両にソリューションを提供しています。

#### ご存じでしたか?

**ヴァレオのイノベーションは公衆衛生にプラスの影響を与える可能性があります。**

人間の健康にとって自動車の電動化が重要であることを、ロンドンに本拠を置く生物医学研究センターであるフランス クリック研究所は研究結果の中で強調しています。この研究は、2022 年 9 月 9 日から 13 日にかけてパリで開催された世界有数の腫瘍学会議、ESMO Congress 2022 のオープニング セッションで発表され、大気汚染が非喫煙者の肺がんを引き起こす可能性があることを示しました。

この調査結果は、主に道路交通によって引き起こされる大気汚染の低減に向けて行動するよう、公的機関などに呼びかけています。

気候変動と公衆衛生の両方が、モビリティの電動化にかかっていることは明らかです。ヴァレオはこの分野で重要な役割を果たしています。電動化のパイオニアとして、ヴァレオは 10 年以上前にゼロ・エミッション・モビリティへの第一歩を踏み出しました。

ヴァレオの技術は、旅客輸送はもちろん、都市間の長距離貨物からや街中でのラストマイル配送まで、幅広い用途をカバーしています。

IAA Transportation では、ヴァレオは高出力から低電圧まで、次のような製品を展示します。

- トラックの電動モーターを制御する「心臓」と「頭脳」である新しい 800V SiC インバーター。
- 車軸の中央に配置するユニットで、電動モーター、トランスミッション、およびパワー エレクトロニクスを搭載した 400V および 800V eAxles。
- バッテリーを最大 22kW まで充電できるだけでなく、必要に応じて電力網にエネルギーを再分配できる双方向車載充電器。
- 48V 電動モーター、トランスミッション、パワー エレクトロニクスを搭載したバン用 48V ハイブリッド システム [ヴァレオの 48V テクノロジーについては次のセクションを参照]。
- eCargo バイク、三輪車、四輪車に特に適したペダル アセンブリに取り付けられたモジュール「ヴァレオ Cyclee テクノロジー」。排出量を最小限に抑えながら、都市部で商品を迅速かつコスト効率よく配送するソリューションを提供します。

高性能な EV には、革新的なサーマルマネジメントシステムが不可欠です。ヴァレオはバッテリー・サーマルマネジメント、空調とヒート ポンプ・テクノロジーも紹介します。

## 車両の電動化を支えるヴァレオのサーマルテクノロジー

革新的なサーマルシステムがなければ、電動化革命はありえません。ヴァレオは、バッテリーのサーマルマネジメントと車室内の快適性の両方をカバーする包括的な専門知識を開発してきました。

バッテリーの急速充電は、通常の充電よりも多くの熱を発生します。この対策として、ヴァレオは充電速度と強度に適した冷却技術を開発しました。

また、バッテリー使用時に求められるあらゆるサーマルマネジメント技術を開発しました。これは、走行距離とバッテリー寿命を維持するための鍵となります。

車内の暖房と冷房、窓の曇り取りはエネルギーを消費し、EVの航続可能距離に悪影響を及ぼします。ヴァレオは、航続距離への影響を最小限に抑えつつ、乗客に快適さを提供するためのいくつかのイノベーションを開発しました。

### ▶ ゼロエミッション・バス向けのヴァレオ REVO®-E HP R744 HVAC システム

ハノーバーで開催された IAA トランスポーターションで、ヴァレオは EV バス向けの新しいリバーシブル・ヒートポンプ、ヴァレオ REVO®-E HP R744 を発表しました。この低エネルギー システムは、車両のルーフに設置し、車内を効率的に冷暖房します。

外気温が極寒の-20°Cから灼熱の+50°Cまで、ヴァレオのソリューションは、車両の走行距離に影響を与えることなく、可能な限り最高の快適さを乗客に提供します。

これは、使用されているテクノロジーとそれに関連するインテリジェンスのおかげです。このシステムは、高性能の熱力学的特性を持つ自然冷媒 R744 を使用します。電子制御のサーマルマネジメント・ソリューションは、専用ソフトウェアを使用して最適な動作条件を決定し、利用可能な電力と同期して冷暖房を調整します。

さらに、ヴァレオ REVO®-E HP R744 システムは、バスへの取り付けを容易に行えます。インターフェースは REVO® Classic システムと同じですので、簡単に搭載することができます。このシステムはプラグアンドプレイ ユニットであり、充填済みで顧客に届けることもできます。冷媒回路は事実上メンテナンスフリーで、システム全体が自動車産業と完全に互換性のある持続可能なコンポーネントで構築されています。

#### ご存じでしたか？

#### バスの乗客に「環境に優しい」快適さを提供 - 大都市の公共交通機関とのウィンウィン

人類史上で最も人口密度の高い地域である「メガシティ」(少なくとも 1,000 万人が住む都市)は、日々成長しています。1990 年には、世界のメガシティは 10 都市でしたが、2018 年には 33 都市になりました。国連は 2030 年までに 43 都市になり、人口増加の 3 分の 1 以上がインド、中国、ナイジェリアで起こると予測しています。

第二次世界大戦後、自動車は欧州の都市におけるモビリティの発展の中心でしたが、これからは変わるでしょう。多くの都市が自転車インフラを整備しています。ナイロビ、ジャカルタ、アディスアベバ、北京は自転車専用レーンを拡張しています。また、地下鉄路線の新設よりも安価で導入しやすい EV バスを旅客輸送に活用する計画も進められています。

ヴァレオのエネルギー効率の高いバス用空調技術は、こうした公共交通機関に特に適しています。

➤ **ヴァレオ FlexHeater、EVトラック向けに設計されたスマート・ヒーター**

IAA Transportation 2022 で、ヴァレオは最新のスマート キャビン ヒーティング イノベーションであるヴァレオ FlexHeater を展示します。この新しい車室用の輻射熱テクノロジーを空調による暖房と組み合わせることで、従来の暖房システムよりも消費電力が少なくなります。

ヴァレオのスマート・サーマル・コントロール・アルゴリズムにより、輻射熱によって車室の壁とトラックの乗員を同時に温めることができるようになり、効率を高めて熱損失を大幅に抑えます。

FlexHeater 輻射パネルは薄くて柔軟性があり、キャビン ライニングの構成材料 (プラスチック、ファブリックなど) にかかわらず、簡単に組み込むことができます。

このインテリジェントな制御により、ドライバーと乗客双方のさまざまなニーズに合わせて温度レベルを調整できます。個人に合わせて調整することで、無駄な電力消費を抑えて、航続距離を伸ばせるようになります。

この技術は、ヴァレオが車両にもたらすインテリジェンスの一例です。次ページ以降でもヴァレオ車載インテリジェンス ソリューションをご紹介します。

## 人とモノのモビリティは変化しつつ、多様に

### ラストマイルデリバリー向けのニューモビリティの登場とヴァレオ

ヴァレオは 48V システムのパイオニアであり、世界的なリーダーの一角です。当初は、廉価なハイブリッド電動化ソリューションとして設計され、特にバン向けでは今もその需要がありますが、ヴァレオの 48V システムは、フル電動のパワートレインソリューションへと発展しました。

ヴァレオの 48V マシンは、共通の技術プラットフォームから廉価に大量生産されており、ほぼすべての都市型車両に電力を供給することができます。ヴァレオのフル電動 48V テクノロジーは、「形態は機能に従う」という名言を覆します。ここでは、機能が形態に従っています。車両メーカーは二輪車でも、三輪車でも、四輪車でも、あらゆる形態の人やモノを運搬する都市向け小型商用車に、ヴァレオの 48V システムを搭載して電力を供給することができます。

#### ▶ ヴァレオ Cyclee、eCargo バイク向けの電動アシスタンス

ヴァレオ Cyclee は、あらゆるタイプの自転車に対応するサイクリング業界で比類のない 48V 電動アシストシステムです。48V 電動モーター、フランスの Effigear 社と提携して開発されたオートマチック ギアボックス、サイクリストのライディングスタイルに即座に適応できる予測ソフトウェアを搭載したアシスタンスシステムをペダルアセンブリ内に統合した初のシングル・モジュールです。

##### ご存じでしたか？

大気を汚染する交通手段が都市から締め出されるにつれて、電動アシスト自転車の市場が広がります。

渋滞が深刻な都市部では、ガソリン車の配達に代わって電動自転車と三輪車が効率的な手段となります。英国 KR 財団が 2021 年 8 月に実施した「Possible」調査によると、ロンドンのような大都市では、eCargo は 60% 速くなる一方、CO<sub>2</sub> 排出量は 90% 減少します。

130 Nm のトルクで、アシスタンスシステムはペダルのトルクを最大 8 倍（現在の平均は 5 倍）にし、サイクリストはあらゆる状況で快適かつ楽に乗ることができます。ヴァレオ Cyclee ソリューションは、一般家族での使用からプロの輸送用まで使えますが、特に eCargo バイクに適しています。最大 350 kg（バイクとサイクリストの重量を含む）まで無理なく運ぶことができます。したがって、このシステムにより、前進でもバックでも、重い荷物を積んで駐車ランプを簡単に上ることができます。

eCargo は、ヴァレオの電動アシストを搭載する最初のモデルの 1 つになる予定です [次ページを参照]。



➤ **ヴァレオ Cyclee を搭載した Mubea eCargo バイク (U-Mobilty)**

Mubea は、自動車で築いた専門知識をラストワンマイルの配送に求められる要件に活かし、ヴァレオ Cyclee テクノロジーを搭載したフル電動四輪車を開発しました。この新しいゼロエミッションのマイクロモビリティビークルは、その堅牢性、デザイン、人間工学、積載量、有償搭載量で際立っています。

500 kg の最大総重量に対して 200 kg のペイロード

ヴァレオ Cyclee: 250W の出力

130 Nm のトルク

バッテリー容量: 最大 1,240Wh



➤ **ヴァレオ 48V eAccess を搭載した Gaius Rapide 3**



Gaius Rapide 3 三輪車は、ヴァレオ 48V eAccess システムを搭載しています。これは、全電動モーター（ヴァレオ iBSG 48V スターター オルタネーターまたは一体型ベルト スターター ジェネレーターをベースにする）、アメリカの Dana 社と提携して設計されたトランスミッション・システムを統合したオールインワン ソリューションです。

航続距離が 210 km の Gaius Rapide 3 は、日々の都市部での配達に最適です。強力な回生ブレーキシステムにより、走行距離を延ばすことができます。

Rapide 3 は他の用途にも使用できます。フル・カスタマイズが可能な積載システムにより、低温物流、緊急対応、メンテナンス、などさまざまな用途向けの車両として使えるように簡単に変更できます。

➤ **ヴァレオ・ミニ・ドロイド、スマートなデリバリーのおともに**

ヴァレオは小型自動配達ドロイドを設計しました。このフル EV ドロイドは、ヴァレオの技術をインテリジェントに組み合わせた好例であり、徒歩で買い物に行く人々の移動をサポートします。

このドロイドの自動運転システムは、ヴァレオ・モビリティキットに統合された技術を活用して、周囲を分析します。

ヴァレオのミニ ドロイドは、人口密度の高く入り組んだ都市部、特に世界中で広がるゼロ エミッション ゾーンでの、ラスト マイル配送の将来像を示しています。





## ヴァレオ・モビリティキットと、自動シャトルへの搭載

### ➤ ヴアレオ・モビリティキット、最も手に入れやすいインテリジェンス

モビリティが新しい形態をとり、ドローンや小型配達ロボットなどの新しい車両が出現する中、ヴァレオはこれらの新しい無人車両に統合できるように「すぐ使える」技術を展開しています。ヴァレオ・モビリティキットは、センサー、電子制御ユニットとアルゴリズムで構成されています。また、認識、地理位置情報と制御ソフトウェアで補完することもできます。

このように、ヴァレオのプラグ アンド プレイ認識システムを活用して、ドライバーレス ロジスティクス ソリューションを実現することができます。すでに実証済みの技術を活用して新しいビジネスを作成し、自動車の品質と信頼性を量産効果で手頃な価格で提供できます。

### ➤ Valeo と Navya のパートナーシップ

Navya が設計したレベル 4 自動運転シャトル Autonom® 7 台が、バイエルン州で既に稼働しています。7 番目のシャトルは、2022 年 9 月 6 日にクローナハに納入されました。

クローナハが取得した最初の 2 台は、市の主要な地点を結ぶ新しい公共交通サービスとして使われました。9 月に導入された最新の自動運転シャトルにより、現在のルートから町の主要な観光名所の 1 つであるクローナハ城まで延長されます。

Navya が 2015 年に最初のレベル 4 自律シャトルを発売して以来、世界 25 カ国で 200 台以上の車両が販売されました。

ヴァレオは、Navya のパートナーの 1 社として、シャトルが周囲を認識し、レベル 4 の自動運転を可能にする LiDAR を提供しています。

## 人とモノのモビリティは変化しつつ、安全に

### より安全な輸送への道を照らすヴァレオのテクノロジー

ビジビリティシステム（ライティングとワイパー）は、ヴァレオが世界をリードする分野であり、道路交通の安全性を高める上で不可欠です。モビリティ革命が複数の分野で同時に進行しているように、車両のライティングもかつてないほどの変革を遂げています。一言で言うと、ライティングはもはや照らすだけではありません。

インテリジェンスを組み込まれたヴァレオのライティングは、ユーザーに情報を提供し、導き、警告し、寄り添います。近い将来（2024年）には、トラックやバスの近くにいる歩行者やサイクリストなどの交通弱者向けのライティングが提供される予定です。ウインカーやリバースギヤなど車両の操縦意図を路面に投影したり、交通弱者の視野に入る合図を出したりし、車両と他の道路利用者とのコミュニケーションを改善することで、すべての人の安全性が向上します。ヴァレオは、防眩用の高精細ライティングモジュールやグラウンドシンボルプロジェクションなどのテクノロジーをすでに有しており、量産する準備が整っています。これらの問題について欧州の規制が整備されてきて、新しい安全機能の搭載が認められています（「ご存じでしたか?」をご参照ください）。

#### ご存じでしたか?

#### 視認性と安全性を高めるための EU の措置

EU 機関は、2022 年から乗客、歩行者、自転車を保護するための新しい安全技術の搭載を欧州の車両に義務付けることを発表しました\*。

これらの新技術は、交通事故による死亡者と負傷者を減らすのに役立ちます。その 90% は人的エラーによるものです。2018 年 5 月、欧州委員会は、トラックやバスの危険な死角を減らすシステムや、ドライバーに眠気や注意散漫を警告する技術などの車両安全対策を義務化することを提案しました。

トラックとバスに関して、新たに必須となる安全機能は以下の通りです。  
- バスやトラックのドライバーの直視を改善し、死角をなくするための特定の要件。  
- 車両の前面と側面にあるシステムで、特に曲がる時に、交通弱者を検出して警告。

\* [https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/IP\\_19\\_1793](https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/IP_19_1793)

ヴァレオは、これらの最先端技術をモビリティ業界と互換性のあるものにする、つまり廉価に提供することを目指しています。

### よりアシストされた輸送のためのヴァレオのテクノロジー

ヴァレオは、ADAS 分野での世界的なリーダーであり、道路交通をより安全にすることを目標に掲げています。

ヴァレオがこの目標にコミットしたのは 30 年前のことです。障害物を検出するとビーブ音を鳴らしてドライバーに知らせる超音波センサーから、すべてが始まりました。その後、ヴァレオの運転支援システムには、緊急ブレーキを作動させたり、車線逸脱を防止したりする技術が登場しました。現在、ヴァレオのテクノロジーにより、車に運転を安全に委ねられるようになってきています。

ヴァレオは先進的で包括的なセンサーポートフォリオを備えており、ハードウェアから統合電子制御ユニットまで、システム全体を統括します。この技術により情報を統合し、ソフトウェアで解釈可能なデジタルデータに変換します。ソフトウェアは自動車の重要な部分になりつつあり、これはさらに加速するでしょう。

ヴァレオのリーダーシップを象徴しているのが、世界で初めて量産された 3D レーザー スキャナーです。すでに市販車に搭載され、レベル 3 の自動運転を実現し、特に信頼性において自動車業界の厳しい仕様を満たしています。IAA Transportation で展示したこの ADAS 技術は、道路交通の安全性を高めるために不可欠です。人間の目や、カメラ、レーダーでは見えないものを見ることができるからです。

➤ ヴアレオ NFL LiDAR, 360° ニアフィールドビジョン

長距離用 LiDAR スキャナーに加えて、ヴァレオは NFL ニアフィールド LiDAR を導入します。

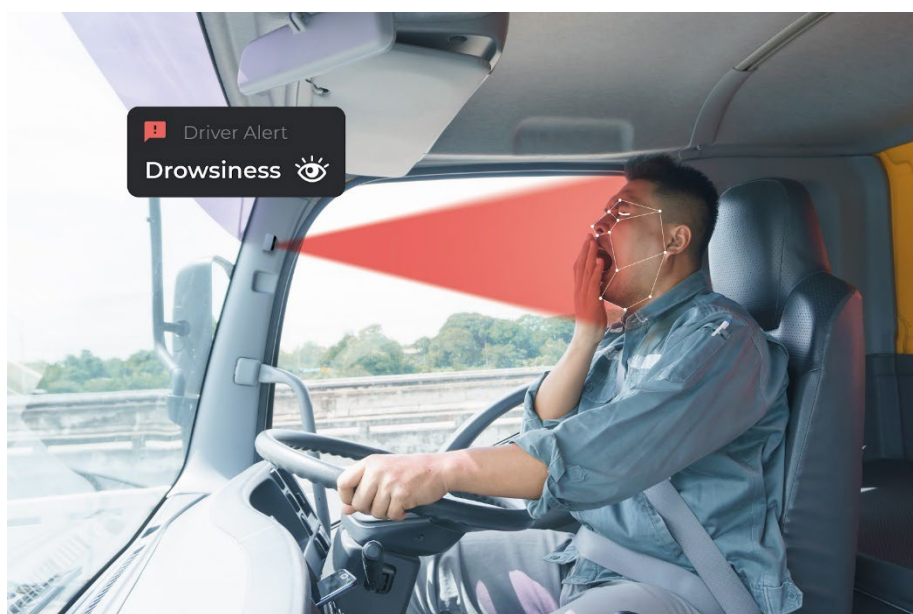


配送ドローンやロボタクシーなどの無人自律運転において、このイノベーションは車両の周囲に安全な「コクーン」を作り出します。他のセンサーと連携して死角をなくし、始動するとすぐに車両全周 360° の近距離視野を確保し、歩行者や障害物を回避しながら移動できるようにします。

➤ ヴアレオドライバーモニタリングシステムにより、ドライバーの安全を

IAA Transportation で、ヴァレオはトラックのピラー内側に取り付けられる DMS (ドライバーモニタリングシステム) を発表します。

このシステムは、ドライバーの顔に向けられたカメラと統合された制御ユニットが、まぶたの開き具合、瞳孔と目の位置、頭の動きを分析します。このデータを車両の軌跡に関する指標と組み合わせることで、ソフトウェアはドライバーがどの程度集中しているか、注意散漫になっているかを判断し、必要に応じて、ドライバーに警告します。DMSによりドライバーの居眠りや注意散漫を防ぐことができ、道路交通の安全性を高めることができます。さらに、ソフトウェアを追加するとドライバーの視線の方向を識別できるようになり、ドライバーはインターフェースを起動し、ハンズフリー状態でのコンテキストメニューをアクティブにできます。これは、プロのドライバーの安全性の向上に貢献します。



メニューをアクティブにできます。これは、プロのドライバーの安全性の

## ヴァレオ、モビリティ変革の中心における技術リーダーとして

ヴァレオは、モビリティ革命の中心に位置するテクノロジー企業です。ヴァレオは、よりクリーンで安全でスマートなモビリティへの移行を促進するテクノロジーを開発し、すべての人がアクセスできるようにすることを決意しています。

ヴァレオは、車の電動化と運転支援システム (ADAS) の世界的なリーダーです。この 2 つの市場は、規制と、より安全でクリーンなモビリティへの高いニーズにより、今後数年間で大きな成長が見込まれています。

2021 年、ヴァレオは OEM 売上高の 12% を 研究開発に投資しました。これは、自動車業界というより、世界のテクノロジー大手に匹敵する水準です。ヴァレオは、研究開発部門で 20,000 人のエンジニアを擁しています (2009 年は約 6,000 人)。ヴァレオのイノベーションは、世界中で 34,000 件の有効な特許のポートフォリオによって保護されています。

### ヴァレオは全ての事業分野で主要なポジションに

- パワートレインシステム: No.1
- ADAS: No.1
- ライティングとワイパーシステム: No. 1
- サーマルシステム: No. 2

### ドイツにおけるヴァレオ

1974 年にドイツに進出したヴァレオは、同国の自動車産業の主要企業の一社です。ドイツの自動車メーカー向けの売上は、ヴァレオの売上高の約 30% を占めています。ヴァレオ ドイツは、14 カ所の工場と 8 カ所の R&D センターを構え、約 7,200 人の従業員を擁しています。

グループと同様に、イノベーションはヴァレオ ドイツにとって重要な焦点です。フランス国立知的財産研究所 (INPI) が 2022 年 6 月に発表した最新のデータによると、ヴァレオは 2020 年に全世界で 1,777 件の特許を出願しましたが、このうち 444 件はドイツでの出願です。